

## 令和 8 年度 学校関係者評価委員会 議事録

開催日時:令和 8 年 5 月 20 日(水)

参加者:評価委員 4 名 ・ 学校教職員 3 名

### 【学校評価を行う目的】

- 自己点検・自己評価を継続してきた中で、内部の自浄作用による改善を図ってきた経験から、学校関係者による評価も加えて学校運営の更なる改善を継続的に実施していく。
- 外部識者による評価を実施し、その結果を公表することで学校の健全運営を広く知って頂く機会とする。

### 【会議議題】

#### 1、令和 7 年度自己点検自己評価の報告

別紙の通り

#### 2、評価委員からのご意見

##### I. 教育理念・教育目的・教育目標

前年度から、評価ポイントもアップしており、特段の問題はないことを評価された。

##### II. 教育課程・教育活動

学生によって指導の受け方に違いが生じている点について質問があり、教員間での指導力の差がある可能性が示唆された。また、過年度学生への対応について、担任の負担や支援体制について質問があり、教職員教育および教職員間のコミュニケーションについて、改善・向上を進めていくこととする。

臨地実習については、実習指導者と担当教員の協働について、事前打ち合わせが行われていることを評価いただき、今後も継続し良好な関係性を維持していくこととする。

##### III. 学生生活支援

ホームカミングデーの取り組みや卒業後の定着支援について質問があり、前年のホームカミングデー参加人数を報告するとともに、具体的な会話・相談内容について共有した。また、ホームカミングデー以外でも、卒業生が継続的に相談に来る体制が整っていることを説明した。その際、卒業生の社会人として成長について、どのような支援を行っているかを質問があり、努力の継続の大切さなど、個別に対応していることを報告した。

##### IV. 学校経営・管理

前年度から評価が下がった理由と教職員間の情報共有について質問があり、教職員間の対応統一やマニュアル整備の必要性、学生指導における統一化の取り組みについて、具体的な対応事例を挙げて説明した。

## V. 教職員の育成

校内研修のテーマ設定や新任教員への配慮について質問があり、ルーブリック評価の継続的な取り組みや、領域ごとの意見交換の充実について説明した。加えて、科目横断的な共有や新人教員へのフォロー体制について説明した。

### 3、総括・次年度の課題等

全体的に評価ラインは維持しており、継続的な改善を求める。また、学生から意見の重要性についても意見をいただいた。次年度に向け、より良い学校運営の継続を実施していきたい。

以上